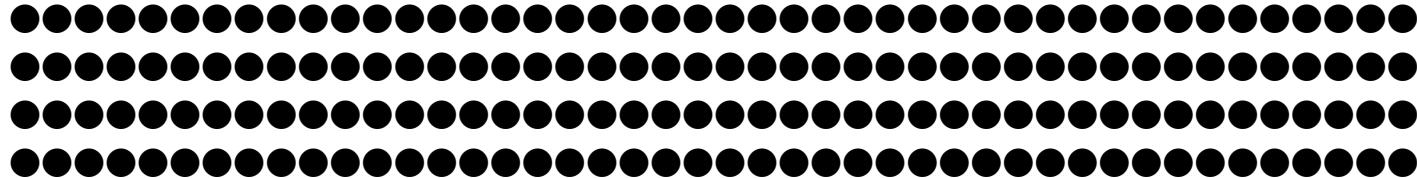


### 3. R4芽室町議会実行計画書

#### (1) 政策課題

##### (i) 総務経済常任委員会

① ● ● ● ● ● ● ●



##### (ii) 厚生文教常任委員会

###### ① 子どもたちの学習環境整備

・令和2年度に策定した「芽室町教育委員会ICT整備・活用指針」に基づき、全小中学校の児童・生徒にタブレット端末とAIドリルを導入し、教室には大型提示装置を計画的に導入してきた。今後も現行の活用指針について、ハード・ソフト両面からの課題の整理、展望等について調査が必要である。

また、少子化などにより部活動や校区など教育環境に様々な課題が生じてくることが予測されるため、町民からの意見聴取、または令和8年度までを計画期間とする芽室町立小中学校配置計画について適宜調査を行い、課題の整理、課題解決に向けて調査研究を行う。

進捗工程表

達成時期：R 5年3月

所管委員會：厚生文教常任委員會

施策（事業）名：子どもたちの学習環境整備

## 【現状】

- ICTを活用した学習環境整備が行われている
- CSの取り組みが始まっている
- 町内の年間出生数が減少している

## 【目指す姿(目標)】

- 子どもたちの多様な学びが保障される
  - 地域全体で子どもを育む体制の構築

[取組内容]

- ① 現状の課題把握のための調査
  - ② 意見聴取・交換の場を持つ（教育関係者等）
  - ③ 先進事例等の調査研究

【課題・政策】

- ICTを活用するための環境整備が必要（ハード・ソフト両面）
  - CSは、学校関係者以外の町民への周知及びボランティア受入れの体制整備
  - 年間出生数の減少により、中長期的な視点では校区なども課題となってくる

[工程詳細]

[R元年度評価] ⇒ R3年度新規

進捗状況	
達成評価	A目標達成   B概ね達成   C未達成   D未着手   進行管理   完了   継続   見直し   取止め・廃止   その他
備考	

[R2年度評価] ⇒ R3年度新規

進捗状況	
達成評価	A目標達成   B概ね達成   C未達成   D未着手   進行管理   完了   継続   見直し   取止め・廃止   その他
備考	

[R3年度評価] ⇒ 概ね達成・継続

進捗状況	委員会調査、現地調査により実態・状況把握を行い、町民との意見交換会を通して町民意見の把握に努めた。
達成評価	A目標達成   B概ね達成   C未達成   D未着手   進行管理   完了   継続   見直し   取止め・廃止   その他
備考	3つの課題のうち、①ICT活用に向けての環境整備(ハード・ソフト両面)については4回の委員会調査と現地視察の実施により調査を深めてきた。また②CSに係る町民周知及びボランティア受入れの体制整備については1回の委員会調査を行っている。 令和4年度についても、①芽室町教育委員会ICT整備活用指針について、引き続き課題の整理、展望等について調査を進める。また、②芽室町立小中学校配置計画について令和8年度までを計画期間とする現行計画について、適宜調査を行い、課題の整理、課題解決に向けた取り組みについて整理する。

[R4年度評価]

進捗状況	
達成評価	A目標達成   B概ね達成   C未達成   D未着手   進行管理   完了   継続   見直し   取止め・廃止   その他
備考	令和3年度から抽出事業のテーマを「子どもたちの学習環境整備」と設定し、調査研究を行ってきた。令和4年度は5回にわたる委員会事務事業調査を実施し、タブレット持ち帰りルール、不登校支援システム、子どもの学習環境(ICT)などについて現状把握と課題整理を行った。また、学校配置計画を含めた将来的な教育環境の整備については、次期芽室町立小中学校配置計画(令和9~16年度予定)への反映に向け、当別町の小中連携教育

	<p>の現況調査を行った。</p> <p>本町においては ICT を活用した学習環境整備について、ハード面での整備は一定進んでおり、今後はどのように活用していくかというソフト面での取り組みについて、引き続き委員会として調査していくことが必要と考える。また、小中一貫教育の導入については、本町でも検討を始めたところではあるが、配置計画の検討も間近に迫っていることもあり、新たな教育システムの構築に向けて、早急に全体ビジョンを定めていく必要がある。児童・生徒数減少などの物理的課題の解決にのみ焦点を当てた改革や配置計画の見直しにならぬよう、早期の議論開始が必要である。なお、議論の過程において、多くの住民と協議を重ねることにより、事業導入への理解に裾野を広げ、同じベクトルをもって強力に事業を推進していく力にもつながることを、委員会での調査を経て確認することができた。</p> <p>このような視点を持ち、今後も学習環境の整備、小中一貫教育について、委員会としても調査・研究を進めていく必要性があると考える。</p>
--	--